

津波災害の取組は



野口 昌作 議員

町長

マップの配布と避難訓練を実施した

【野口】佐渡沖地震で津波が発生した場合、県内では、大山町に最も大きい7.4m、次いで琴浦町6.4mと報道されていた。対策は。

【町長】暫定津波浸水予測に基づくハザードマップを配布し、津波が最も早く到達する鳥取沖地震を想定し避難訓練を平成24年と27年に実施した。

自分の身は自分で守るとするのが原則だが、配慮が必要な方もいる。

【野口】津波が心配される低い地域の家屋移転は考えないか。

【町長】町単独では難しい。

【野口】ハザードマップの見直しは。

【町長】避難路を載せ、最新情報を基に見直したい。

健診の取組は

町長

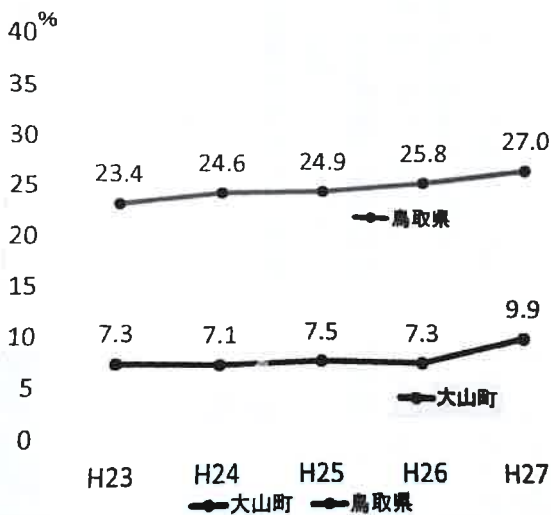
健診を無料に ドックは見直す

【野口】本町は透析、高血糖、高血圧など持病を持つ割合が県下で非常に高く、健診の受診率は特に低い。ポイント制を含め取り組みの見直しをしないか。

【町長】健診は早期発見、早期治療につながる

り重要だ。集団、個別健診を無料にする。人間ドックは補助金を減額して、毎年、どこでも受けられることとした。

ポイント制はしない。



胃がん検診率の比較

果物が出る給食を

教育長

十分な殺菌が必要になる

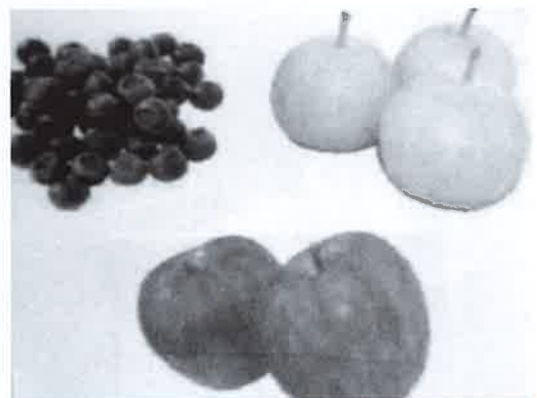
【野口】保育所でご飯の持参を止め完全給食にし、無料とした経過は。

【教育長】ご飯持参の廃止は児童福祉法の子供の健全な成長の保障と子育て支援、人口対策からである。

【野口】小学校の給食では、梨など果物が出されていないと聞くが。

【教育長】約十年前にノロウイルスで食中毒が発生した経過からである。

生野菜・生果物を提供するには、家庭用ハイターのような洗剤で殺菌する必要があるため、現在は提供していない。



大山町でとれる果物